


平成23年度の主な取り組み

総合計画に掲げられたまちづくりの6つの方向に沿って紹介します。 企画政策課 田 (☎042 - 460 - 9800)


1



創造性の育つ まちづくり

◀すみよし保育園

事業名	事業費	事業概要
保育園施設の耐震改修	6,837万円	平成22年度に実施した実施設計に基づき、2園の耐震補強工事を実施します。
完全中学校給食の実施	11億3,888万円	中学校完全給食の実施に向け、5月から3校で完全給食を実施するとともに、小中学校施設の改修工事等を実施します。
小学校校舎等大規模改造事業	7,827万円	2か年で普通教室への空調機設置を目指し、未設置校18校の実施設計を行います。また、1校で校庭の芝生化工を実施します。
中学校校舎等大規模改造事業	2億6,546万円	普通教室への空調機設置を目指し、未設置7校の実施設計と設置工事を実施します。
スポーツ施設の改修	2億1,751万円	スポーツ祭東京2013の競技会場となる総合体育館の改修工事などを実施します。



笑顔で暮らす まちづくり

地域福祉コーディネーター▶

事業名	事業費	事業概要
地域福祉コーディネーターなどの育成・配置	941万円	昨年度に引き続き、地域福祉コーディネーターを市内4圏域の1つにモデル配置し、本格実施に向けた検証を行います。
地域密着型サービス等重点施設の整備	2億1,700万円	住み慣れた地域で安心して生活できるよう、認知症高齢者グループホーム、小規模多機能型居宅介護施設、夜間対応型訪問介護の整備を行います。
障害者総合支援センター運営管理	3億3,170万円	5月6日に開所し、障害者の自立および社会参加を支援するとともに、地域社会の活動拠点として、相談支援センターや生活介護事業などの各種事業を実施します。

3



環境にやさしい まちづくり

◀下保谷森林公園

事業名	事業費	事業概要
公園広場等整備事業	4,672万円	下保谷森林公園の整備工事と(仮称)下保谷四丁目特別緑地保全地区の都市計画決定に向けた準備を行うことなど、緑地の維持・保全、公園の整備に努めます。
環境情報の提供および環境学習の推進	736万円	エコプラザ西東京を拠点として環境講座の開催や環境情報を発信し、環境意識の啓発を図ります。
再生可能エネルギー導入の検討	414万円	再生可能エネルギー機器の設置助成や事業所による環境マネジメントシステム認証取得の助成を実施し、環境負荷の低減を図ります。

4



安全で快適に 暮らすまちづくり

ひばりヶ丘駅南口▶

事業名	事業費	事業概要
ひばりヶ丘駅周辺まちづくりの推進	23億2,023万円	ひばりヶ丘駅周辺の総合的なまちづくりを進めるため、都市計画道路3・4・21号線の整備に向けた用地を取得するとともに、その沿道のまちづくりに取り組みます。
都市計画道路の整備	10億6,689万円	都市計画道路3・5・10号線、3・4・11号線、3・4・13号線、3・4・15号線の整備および3・4・24号線の基礎調査を実施し、日常生活の利便性と地域環境の向上を図ります。
消防団詰所の整備	6,947万円	消防団第4分団および第8分団詰所の建替工事を行い、消防力の強化を図ります。
耐震化の促進	938万円	耐震化に対する支援策として木造住宅耐震診断、改修助成を継続実施するとともに、新たに耐震シェルターの設置補助、緊急輸送道路沿道耐震アドバイザー委託を実施します。

5



活力と魅力ある まちづくり


市内に広がるキャベツ畑



西東京市農産物キャラクター「めぐみちゃん」

事業名	事業費	事業概要
魅力ある農業経営促進事業	4,484万円	「都市農業経営パワーアップ事業」、「都市と農業が共生するまちづくり事業」など東京都の制度を活用し、魅力ある農業経営への支援を行います。
市民に身近な生産加工流通体制づくり	221万円	市内農産物のブランド力強化に向け補助制度を継続実施し、市内農産物活用の推進を図ります。

6



協働で拓く まちづくり

市民活動団体を対象にした会計講座▶

事業名	事業費	事業概要
(仮称)コミュニティ検討委員会の設置に向けた調査・研究	101万円	(仮称)コミュニティ検討委員会を設置し、地域のコミュニティのあり方について検討します。
行政管理情報の運営管理	6億853万円	情報通信技術の活用により、効率的な運営を行い、市民の皆さんの利便性の向上に努めます。
新たな行財政改革大綱の策定および推進	93万円	第三次行財政改革大綱に基づいた取り組みを進めていきます。重点課題である「公共施設の適正配置・有効活用」については、ファストプラン・早期実施計画と位置づけ、速やかに課題解決を図ります。

合併の効果を報告します

市は、合併を「究極の行財政改革」と位置付け、スリムで効率的な行財政運営に努めながら、合併効果を最大限に発揮し、市民の皆さんとの協働による計画的なまちづくりを進めてきました。平成13～21年度までの合併後9年間の取り組みについてお知らせします。

1 新市建設計画および総合計画の実施状況～計画的なまちづくりの推進～

西東京市のまちづくりは、合併前の田無市・保谷市合併協議会で策定された新市建設計画および平成16年度からスタートした初めての総合計画に基づき進められています。平成13～21年度における新市建設計画(平成16年3月改訂)に掲げた65事業の事業費総額は約489億円で、平成16～21年度における総合計画事業の事業費総額は約484億円で、

2 合併効果の概要～合併に伴う財政支援と経費削減の状況～

(1) 合併に伴う財政支援

「国や東京都による合併支援の状況」

国都支出金(補助金、交付金)

国や東京都から新市のまちづくりに対する財政支援として平成14年度までの3年間で12億6,800万円が交付されました。

地方交付税

普通交付税の算定の特例(合併算定替)や特別交付税として約148億4,000万円の財政効果がありました。

合併特例債

上限額320億円のうち、平成21年度までの9年間で217億9,800万円を活用しました。

(2) 合併による経費削減効果(普通会計)

9年間の削減効果は約138億500万円です。

人件費

一般職職員を301人削減するなど約124億4,700万円を削減しました。

事務経費

両市の電算システムは統合により削減となりましたが、清掃事業や給食調理業務では退職者を補充せず民間委託化を進めたことにより、委託費などが増えたため、約12億1,100万円増加しました。

東京都への消防事務委託事業

1市分となったことにより、約25億6,900万円削減しました。

企画政策課 田 (☎042 - 460 - 9800)